

催吐リスク	Minimum	皮 nivo480/d1/c28d						
薬剤名	投与経路	投与量	希釈液		点滴時間	投与日(day)		
			mg		(分)			
			mg					
			mg					
			mg		mL			
オプジーボ	480	mg/body	生食	100	mL	30	1	
					mL			
					mL			
					mL			
					mL			
内服薬								

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

重篤な感染症がない

重篤な間質性肺炎がない

重篤な消化器毒性がない

重篤な甲状腺機能障害がない

Ⅲ. 減量基準 (例:Grade3以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

なし

IV. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

間質性肺疾患(2.9%)、AST(GOT)増加(14.3%)、ALT(GPT)増加(11.4%)、 γ -GTP 増加(11.4%)、
Al-P 増加(14.3%)等を伴う肝機能障害(5.7%)、肝炎(頻度不明)、大腸炎(頻度不明)、

添付参考資料(文献・ガイドライン・治療計画書・研究計画書)

インタビューフォーム

N Engl J Med. 2015 Jan 22;372(4):320-30.

Lancet Oncol. 2015 Apr;16(4):375-84.